



ひらどだい

令和5年度 学校だより 6月号 横浜市立平戸台小学校学校長 丹波 悟亮



地域の一員として

副校長 秦 恵美子

新緑のさわやかな5月が過ぎ、初夏の香りが漂う頃となりました。

今月は、4年生と5年生の三浦宿泊体験学習、6年生の日光修学旅行と校外学習が続きました。子ども達は、友達と協力して、様々なことにチャレンジしました。どの子どもとてもいい表情をしていました。

5月は、地域の方にお越しいただき、学校の子どもの様子を見て頂いたり、学校運営や子ども達の日々の様子についてご意見を頂いたりする機会がありました。

5月12日の学校運営協議会では、各学級の授業の様子を見て頂き、学校経営について意見交換を行いました。委員の方からは、本校の体験重視の教育実践がとても良いという意見をいただきました。協議会でのご意見をもとに、今後も学校運営の改善に努めていきたいと思えます。

また、5月22日の朝会では、見守り隊の方々の紹介が行われ、子ども達が「今年もよろしくお願ひします。」の気持ちを伝えました。朝会の後は、図書室にて、見守り隊情報交換会がありました。この情報交換会は、年に2回開かれ、子ども達の安全な登下校について意見交換を行う場です。見守り隊の方々からは、「子ども達からの元気な挨拶は、とても嬉しい。」や「保護者の方も一緒に見守りをしてくれていてありがたい。」などのお話を頂きました。また、登下校中の危険個所の確認等も行いました。見守り隊の方々、子ども達の様子を丁寧に見てくださっていることが伝わってくる温かい会でした。



平戸台小学校では、日々、PTAや見守り隊、そして町内会の皆さんが、子ども達のことを大切に見守り、育ててくださっています。そして、校内では、教職員とともに、学習ボランティアの方々が、子ども達一人ひとりの学びを支えてくださっています。子ども達一人ひとりの夢が叶うよう、地域が学校と一体となっている、とても恵まれた環境だと感じています。

子ども達には、地域の一員として明るく元気に挨拶をすること、友達と協力して一生懸命学習や活動に取り組むことで、地域の皆様に感謝の気持ちを伝えてほしいと思えます。

今後も、地域の皆様とのかかわりを大切にしながら教育活動を進めてまいりたいと思えます。よろしくお願いいたします。